

—組織的活動の重要性—

1963.8.14. P.M. 6 8月例会 於 グリルミンボー

ゲストスピーカー

福島県副知事 湊 徹郎 氏

第1回のゲストスピーカーとして湊副知事にお願いいたしました。湊氏は最近新産業都市の指定を受けた郡山常磐地区の話題に絡ませ。私の公職生活中の体験を2~3、岡目八目的に申し上げ度い。と挨拶。

昭和30年度を境として日本経済は高度に成長を遂げた。とは言うものの経済の底が浅い為に国際収支を挺子として兎角振り回されがちだったと言うのが実情であります。

我々は高度の経済成長率にのみこだわってはいけない。一番大事な事は「安定成長」の問題であり、つまりは景気の波の変化が少く確実に伸びて行く事である。ここで重要な問題と成って来るのは、産業構造の改善であり、農業構造の改善である。そして又、地域的な格差の是正である。

この命題の下に新産業都市の構想が浮び上ったのである。一体高開発地域と目される大都市に於てすら、その内部には開発上の不均衡が見られる。いわんや地方と大都市ではその格差が大きいと言わねばならぬ。

本県では喜多方、二本松、白河が低開発地域の指定を受けているが、私としては福島市もこの指定を受け、中央との格差の是正を計り度く思った。

この格差の是正の問題は全国の低開発地域に共通する問題である。この格差は手段として新産業都市の計画が生れたのである。一体これ迄の地域開発の方向は、殆どが大都市——それも東京とか大阪の様な中央部若しくは準中央部を頂点として、そこから地方へ及ぼして行くが如き、言って見れば縦の系列に依っての開発が多かったと言える。成程、東京より水戸へ、水戸より平、平

より仙台と言った直線的な開発は多かったけれども、平と郡山、郡山と白河若しくは会津と言った横の連絡をとり合う開発の推進め方は大変少なかった、と言って良い。

然し中央と地方との格差の是正の問題から言って、これではいけない。

我々は横の開発を、更には低開発地域の県同志の連絡の下に、面としての開発を計らねばならない。

こうした問題や、考え方を踏まえて新産業都市は発足した。この様に社会は改革しつつあり、経済は進歩しつつある。であるから、我々行政に携わる者としては、今一度行政の在り方を反省せねばならない。法を中心とし、尺度として運用されて来たのが先來の行政である。然し変化し成長しつつある現下の社会や経済に今言った行政理念は通用しにくい。行政に係る者としては前向きの姿勢であり度い、世の動きを上手くキャッチし実情に即応した行政をやって行き度い。

更に言える事は、行政に当って、個々の役所の部門が何の連絡もなく政治を行うと言う事は、立派な行政を行える所以のものではない。横の連絡をとった、組織的な活動——これが、重要な事であると思う、斯うしてこそ、世の動きを捕え、生きた政治となって成果が上って來るのである。私は今度の新産都市の指定の運動を通じて、充分にこの事を痛感した。

この組織的な活動の重要性は単に我々の問題でなく貴方達青年会議所の今後の活動のあり方についても十分に同じ事が言えると思う。

(文責・井上)



家族大会アルバム

福島JCが誕生して初めての野外パーティーが8月20日6時半から矢萩君宅に於いて行われた。色とりどりのとうろうを眼下にながめ、安藤君の名司会により、なごやかな家庭的なふんいきのうちに進められ予定どおり8時半に無事終った。出席数は、会員53名、夫人38名、子供45名。

なお、失礼ながら紙面をおかりして矢萩君ならびに御家族に御礼申し上げます。

福島JC

子供はねむくなる頃、大人は元気の出る頃



理事長挨拶よりはじまる。レディーの前で深刻な顔



まだ子供の時間です。広報委員のホットドックとダンゴ



そろそろ暗くなってきました。まづJCソング



奥様方々まづ、淑女の如く



まづ試食？係員の喫した方が多かった
そうな



三葉軒（三役）のトコロテンがなぜ売
れ行きが悪かったか？未解決のままで
す。解答をお寄せ下さい



サービスとは、模範演技……常日頃の
罪ほろぼしか



JC牧場の射撃大会、1位三役、最下
位総務



がっちりいこうぜ！



東邦銀行

取締役頭取 須藤仁郎

福島愛育園へ

無料健康診断の実施

奉仕委員会

8月25日昨夜來の雨もからりと晴れて吹き去る風も、初秋らしいその日の朝9時、小林専務理事の参加を得た奉仕委員会は、渡部委員長以下11名福島市舟場町渡辺小児科医院へ集結した。

皆今日の仕事に心から奉仕しようとする意欲を全身にみなぎらせていることを容易にうかがいとれる表情である。

会員提供の4台の車に分乗、定刻福島愛育園へ向けて出発した。国道を折れて愈々目的地に近づけば、聞きしにまさる悪路の連続である。あたかも奉仕への信念がその道を突走った感である。

愛育園は園児70名、幼児から満18才迄の児童を容し、此の日は、1名が入院中の事とて69名全員が参加した。特に同園では罹病した場合は、予算から加療費の支出が出来ても一般的健康診断を行う費用は皆無で、今日迄園児の血液型判定も行われていない現状だけに、園長宮崎義宜氏並に、職員の方々は我々の到着を心から待っていて頂いた様である。

早速渡部(光)君、渡辺(正)君、太宰君、伊藤君、坂本君の五医師を中心として、健康診断血液型判定、虫卵検査を実施して



別表の結果をまとめ、宮崎園長に報告を済ませ意義ある行事を終了した。

尚本事業のため休日を返上して参加応援を頂いた、渡辺小児科医院菅野満君、日赤病院佐藤勝敏君、楼ヶ丘病院高橋朋子さんに厚く感謝申上げます。

血液型判定結果

対象	園児	69名	職員	10名
園児	A型	28名	B型	20名
	AB型	7名	O型	14名
職員	A型	5名	B型	3名
	AB型	1名	O型	1名

園児男女別結果

	男	女	計
A型	20名	8名	28名
B型	9名	11名	20名
AB型	5名	2名	7名
O型	8名	6名	14名

虫卵検査結果

対象	64名
蛔虫卵の発見された者	2名

健康診断結果

対象	69名
結膜炎	8名
心臓及び貧血の精密検診を要する者	3名



JCに何を期待するか? 『アンケート(2)』

亀岡高夫

一国の産業経済発展の要素には政治行政の占める割合も少くない。したがって堅実な企業の伸長には正しい姿勢の政治行政が要求されるのであるから、企業者は政治行政の姿を監視するとともに、その育成と協力に力をおしんではない。荷馬車の両輪のごとき双方の関係を、若い英知と、若い行動力で解決してこそ明日の繁栄も約束される。

青年の知性と情熱のみが、その解決を容易にするという認識を一層深めたい。

長谷川幸太郎

1. 純情と良識に信頼

福島青年会議所の定則的目標を指して、新しい産業社会体制への責任を果たすであろうことを期待する。今日の企業者や経営者に希求される責任は大きいが、就中、青年に、その比重がかかる。

2. 労使関係のために

この社会に労働をめぐる問題がおこったのは久しい、それから今まで労使間の紛争は絶えたことがない。

今後ますます争議が多くなり複雑になってこよう。

ことに最近の著しい傾向は、中小企業と零細企業(家族従業員もふくむ特異性)の雇用関係と生活環境のなかにも労使の問題が浸透してきた。

このことの対処に、ちっくりと取り組んでほしい。

3. 手近かなことから

いろいろあるが、まづこんなところからでは如何――。

1. 道路に自転車等置き方の指導

都市計画未完成のせまい道路の両側に自転車のある風景は雑然、さなきだにせまい道路の巾員を一層せまくして道の利用価値を減らしている。道に自転車等を置く場合の整理指導などは如何。

2. 街をきれいにする

言うはやすく行うは難い、これを提倡して実践。

3. 公明選挙に協力

関係方面と連携を保って——青年なればこそ活動部門は多くあろう。

4. 農村青年との交歓など

都市と農村地域の盛衰は相対的なもの、調和のとれた田園都市づくりのため、その他いろいろ指向して交歓協力してほしい。

5. 政治の勉強

政治と経済は相対性原理に基く不可分のものである。政治を政治家のみにまかせたり、その良否を一部人だけの批判にだけゆだねるものではない。みんなが全部が政治の主体として政治に関心をもつべきである。まして産業経済人においてをやだ、こうした意味で新しく正しい政治の見方、考えたを勉強してほしい。

6. 零細企業の実態と消費者の関連

このままでは零細な商工業はますます谷間に陥入るばかりである。この経営実態を地道に調査し、かつこの企業をめぐる消費者層を調べてはどうか。

委員会報告

総務

日 時 昭和38年8月7日 P.M.12.00

場 所 中合スペシャルルーム

小林専務理事出席

出席人員 実戸、尾越、今井、早坂、山田

須藤、鈴木、オブザーバー安藤

議案1. 会員資格単位について

実戸委員長より議案説明後、郡山JCの例を参考として討議に入り、結局、福島JCとしては自地区の例会、委員会を最重要と考えるとの結論に達し右の様に原案を決定した。

議案2. ペナルティーについて

議論は出ましたが結局は遅刻、早退者に1回に付金100円のペナルティーを課す事に決定。容器は会場に備え付け、ペナルティーを課せられた者は自ら提出する事。

議案3. 郡山例会出席の件について

上記に付て希望者を募ったところ、実戸委員長、尾越、山田、鈴木各君が希望し8月10日午後5時出発と云う事に決定。なお、小林専務理事より、特に矢萩理事長より乗用車の提供を考慮する旨の申出があり、有難くお受けした。

以上3議案審議終了し P.M.1.30散会。

郡山JC 8月例会見学

日 時 8月10日(土)

P.M.6.30~9.00

場 所 郡山東邦銀行支店ホール

出席人員 実戸、尾越、山田、鈴木

8月総務委員会にての決定にもとづき、8月10日午後5時10分出発(矢萩理事長より乗用車提供をうける)郡山着6時

会場に至って郡山JC役員に挨拶、総務委員席に案内される。前以て連絡をしていためか、8月号のJCニュースに記事がのり、実戸委員長の挨拶まであるのには一

総務委員会

同驚いた。

JCソングの後、各委員長の報告事項、海外派遣者の報告と続き、続いて実戸委員長より福島JCの設立県についての挨拶、更に会員3人の自己紹介が終り、本日のゲストスピーカー読売新聞渥美俊一経済記者の“流通革命下における経営戦略”なる講義を約1時間半聞き、午後9時すぎ郡山出発、午後10時近く帰福した。

印象、感想等は今回は省略し、報告のみに止めます。

お知らせ

《9月例会》

日 時 9月11日(水)午後6時

場 所 グリル民報

ゲストスピーカー

日銀福島支店長 坂上 静弘

《ゴルフ大会》

日 時 9月15日(日)

場 所 田沢民報コース

スタート 8時30分

会 費 1,500円(予定)

其の他 各自負担

グリンフィ
キャデフィ
昼食費 } 等

《釣大会》

日 時 9月22日(日)

場 所 上山口沼

会 費 500円

(バス代、エサ代、沼代等)

◎尚釣竿、ウキ、エサ等一揃 1,000円で御斡旋申上げます。

【会員消息】

大武正男君(総務委員)のお父さん9月2日逝去された。

会員資格単位について

役員最低取得単位 20単位

会員最低取得単位 10単位

(5単位未満退会勧告)

基本単位 備考

各月例会 1回1単位 年12回開催予定

委員会出席 1回1単位 年12回開催予定

委員会主催行事に出席 1回1単位

理事会に出席

1回1単位 年12回開催予定

他JC例会に出席 1回1単位

他JC行事に出席

1回2単位 認証式、記念式典等

東北地区協議会出席

1回2単位 年6回開催予定

東北地区JC行事に参加

1回2単位 ゼミ、野球大会等

東北地区会員大会出席

1回3単位 年1回開催

日本JC総会出席 1回5単位

日本JC行事に参加

1回3単位 ゼミ、その他

日本JC会員大会に出席 1回5単位

JCI世界会議に出席 1回10単位

但し他JC例会に当JCよりの委嘱にて出席する場合は1回2単位とする。

グリーンという標題に因んで福島JC

ゴルフ6傑を御紹介する。

特に来る15日開かれる第1回理事長杯争奪戦を控えて、とくと、御熟読あります。

馬名厩舎寸評予想

レース中、にぎやかなことで有名。

ゴールインする迄成績が皆目見当がつかず、予想屋泣かせ、芝の馬場より赤土の方を好む

穴

スタート台に上るとき、ブルンブルンと巨体をふるのが特徴、時にへばつてくると巨体をあおむけにして倒れたりする馬丁(キャディ)にやさしいことでも名高い

い

純血サラブ、偉大なオビツからでる長打巧技はさすが本命の名に相応しい。

本命

プレミンボーが本命の名に相応しい。

命

秋元厩舎は優勝候補

命

タカオ一が優勝候補

対抗

坪井厩舎は優勝候補

対抗

スタミナメンは優勝候補

スンナリ

池田厩舎は優勝候補

スンナリ

タルカオ一は優勝候補

タルカオ一

オスマルジョーは優勝候補

穴

こぼれ話

(1)理事長パーティーの際、なれぬ手つきでところ天を押す理事長を見て理事長の御子息「お父さんの働くのを始めて見た」は手きびしい。

(2)その当日の福島市内のバー、キャバレー等はまことに閑散、家族同伴の効果テキ面

(3)奉仕委員会の愛育園奉仕は非常に好評だったが帰り道、悪路に落ちこんで渡辺政明君の車エンコ、愛育園からも、多勢かけつけて無事救出、どちらが奉仕だったか?

(4)第1回スピーカーに登場した湊副知事は時の人があって専ら話題は常磐・郡山地区の新産都市指定に終始した。郡山と仙塩地区的谷間になる県都福島の今後については余り語らず、県北総合開発が話題になっている現在一寸残念であった。

(5)広報委員会では会員へゴルフを普及させるべく秋元委員長を校長に任命して広報委員会ゴルフ教室を近くに開校する運びとなった。会場はオノヤ運動具店練習場で初心者には懇切に指導に当ることとなつた。

福島青年会議所会報第2号

昭和38年9月11日

発行

福島青年会議所

(TEL 2-5412)

編集

広報委員長 秋元

印 刷

純日本五色印刷株式会社

修練

38.7.13 (於辰巳屋食堂) 第1回委員会開催、6時~8時30分閉会

・副委員長、資格審議委員指名

・月例委員会開催日決定

・創立総会準備打合せ

38.7.27 (農協会館ホール) 総会出席

38.8.1.0 第2回委員会開催(臨時集会)

午後6時~8時半閉会

・出席者 理事長、専務理事、池田委員長

高野、国分、鈴木、佐藤(昌)、菅野(一)、

郷、大槻、斎藤幸雄、西形、小野

・納涼大会当委員会担当模擬店について打合せ

・本年度主行事テーマについて検討

新産業都市指定による他都市に対して

県北地区としての今後の福島の将来性を検討する為県当局に於て企画立案しつつある県北地区総合開発案と共に当委員会としてもその総合開発への指針を見出すべく基礎調査を今年度の主目標として取上げる事を決定した。

今後の行事予定

9月例会 県企画開発部長、企画開発課長との懇談会

10月例会 福島民報、民友編輯局長との懇談会

11月例会 日本工業立地センターの東大今野教授との座談会